

【連絡先】
吹田市千里山西1-37-40
かみやソウヘイ事務所
TEL : 090-6059-8330
FAX : 06-6385-1239
Mail : info@kamiyasohei.jp

<http://www.kamiyasohei.jp>



【場当たり的な政策に反対】

ふたつめは特別職の報酬変更についてです。特別職の報酬については下の表にある通り昨年5月臨時議会から計画的とはとても思えないような形で報酬改正の提案が続けられています。あるべき報酬について話し合う特別職報酬審議会も特例減額が行われた後に開催される

	審議内容	議会の決定	備 考
平成23年5月	市長報酬削減条例(任期中のみ)	継続審査	報酬審議会の開催を求める議員あり。
7月	市長報酬削減条例(任期中のみ)	可決	市長公約かつ任期期間中のみの削減であり承認。
	副市長以下特別職報酬削減条例(任期中のみ)	継続審査	報酬審議会の開催を求める議員あり。
9月	副市長以下特別職報酬削減条例(任期中のみ)	修正可決	特別職は退職しなくても4年の任期ごとに退職金が発生、今回で職員時代から数え4度目の受け取りとなる特別職もいることから退職金0円となる議会の修正案が可決。
12月	一般職給料カット条例(2年3か月のみ)	可決	約7億円の削減
	一般職給料表改正	可決	役職に合わせた報酬支給に変更
	特別職報酬審議会召集		既に報酬削減した後であり、召集の意味が不明確。
平成24年1月	特別職報酬審議会による答申		
3月	答申に基づく市長報酬削減条例(任期後もつづく)	否決	
	一般職退職金増額	可決	吹田新選会は反対するも可決。
5月	答申に基づく市長・副市長報酬削減条例(任期後もつづく)	否決	特別職の退職金が復活する案で平成23年9月の議会の意思と反するものであり否決。

今回の議会も行政改革や職員の人件費の話で終始しました。確かに、行政改革やコストダウンは必要なことです。しかし、1990年代の橋本龍太郎総理のころから記憶に新しいところでは小泉純一郎総理をへて、今の民主党政権に至るまで、国のほうでも「行政改革」「行政改革」といい続けてきた結果、日本は良くなったのか?と考えていただきたい。「改革の先に目指すもの」を示さなければ、改革自体が目的となってしまう、結局国民市民の生活や満足度は向上しないのです。今の吹田市も全くその状態ではないかと感じます。「非常事態だ、改革だ」と最初は威勢がいいですが、その先にどんな吹田を作りたいのか、市長の具体的構想は未だに聞けていません。

吹田新選会通信 Vol.22 2012.05

子育て支援の公平性を考えよう!!

問題の本質が置き去りに…

幼稚園使用料
値上げ

**幼稚園使用料
値上げ
補助金削減編**

条例案	吹田新選会	議決
公立幼稚園使用料計4053万円増額する条例	賛成	可決
私立幼稚園補助金約4880万円削減する条例	反対	可決

	公立 (所得によって差はあります)	私立 (補助金を除く)
入園料	0円	78,824円
保育料	84,000円→126,000円	288,744円

	園数	園児数	園児一人あたりにかけて いる税金
公立	16園 	965人 (24年度) 	約67万円 (22年度)
私立	17園 	5473人 (24年度) 	約25万円 (22年度)

私たち吹田新選会は教育が大事だと主張して、教育予算の増額を市長に要求しています。しかし、やみくもに額を上げろと言っているのではなく、削減すべき所は削減し必要な部分にしっかりと予算をつけることで限りある財源を最大限有効活用しなければならないと考えています。

【知ってましたか？】

大阪市長と吹田市長 ― 比較すると!?

	橋下大阪市長	井上市長
大阪都構想	改革の本丸	賛成だが吹田は影響なし
大阪空港	廃港	廃港
歴史教育	見直しが必要	今のままでいい
議員の口利き	厳しくチェック	議員の判断にお任せ
職員の新規採用	拡大	3年停止
職員の退職金	当然カット	値上げ
外部アドバイザー	極端的起用	起用なし

同じ大阪維新の会でも二人の市長の政策が全然違います。市民の皆さんの期待にかなっているのでしょうか？

コラム①



後藤恭平

ゴトウキョウヘイ

【連絡先】吹田市西の庄町2-28
ごとうキョウヘイ事務所
TEL：06-6380-8802
FAX：06-6310-8919
Mail：info@goto-kyohei.net
<http://www.goto-kyohei.net>

後藤代表質問

5 月議会でも丁々発止の議論を展開し、いくつかの議案に反対しました。市長はいくら指摘しても、形ばかりの財政健全化を主張します。もちろん健全な財政運営は大切です。しかし、その手法が市民に負担をおしつけるばかりでは納得できません。やはり、改革には順番があります。庁内改革等の身を削る改革は時間が必要ですが、それを理由に後回しにするのではなく、せめて同時並行で取り組むべきだと私は主張しています。私はそういった政策の不均衡や順序、矛盾についてはシビアに指摘し時には反対しています。市民の方に「維新改革に賛成じゃないの?」と聞かれるのですが、単純に「賛成、反対」と答えられないのもこういった理由からです。未だ取り組んでいない改革があるのに、市民負担を優先させるのは順序が異なるにもかかわらず市長は杓子定規に「受益と負担の公平性」という言葉を使い市民負担の計算だけを先にしてしまっているのです。単純なパフォーマンス政策に感わされることなくこれからもの確に判断していきます!

質問（原発問題についての吹田市の方向性は）――
橋下市長は原発に関して、常に国民的コンセンサスが必要と主張している。当然、大阪維新の会でのコンセンサスも重要視していると考えられるが、井上市長は原子力発電所の再稼働反対の考え方について大阪維新の会の方針と意見を同じくするのか。

市長答弁――
維新の会との関係について、市政と関連しないことについてお尋ねだが、市長としてはお答えする立場にはない。

質問（新規採用を辞めたのに再任用は確保?）――
現在吹田市では3年間新規採用を凍結しているにもかかわらず、定年退職者の再任用や非常勤での再雇用が継続されている。地方公務員法第28条の4には「再任用ができる」と書かれており義務規定とする記載はないが、どのような理由で継続しているのか。
総務部長答弁――
再任用制度については、地方公務員法で再任用職員を「採用することができる。」として任意規定ではあるが、65歳までの雇用確保が官民共通の社会的要請であり、国や全国のほとんどの自治体でも同様の取扱いがなされていることから制度を利用している。

質問（若者の雇用を重視すべきでは）――
年金や雇用のバランスのため、再任用制度の必要性自体は理解できるが、若者の雇用も重視すべきではないか?

【市長は、議員の発言を抑止できるか?】

今回の議会の中で、市長が市の所有地（十億円程度）を売却しようとしていた問題について、後藤議員が売却ではなく、土地の有効活用をすべきであり、明確な説明がないままの売却では「市長の個人的な利益でもあるのでないかと疑ってしまいそうです」と発言しました。それに、市長がキレてしまい、明確な根拠もなくこんなこというなら、発言議員の「答弁によってはしかるべき対応をとる」（かなり強い口調で）という趣旨の不規則発言をし、議員の発言に圧力をかけてきました。
私は関連質問で「市長の行動に疑わしい事があると指摘し、説明を求めるときは、その事実の立証責任は議員にあるというのか?そんなルールになると議員は市長の行動をチェックできなくなる」又「市長には反問権もないのに、答弁しだいでは～だということ言うのは議員の発言を抑止することになる」とした上で、「今後もそういった態度で議会にのぞまれるのか」聞いたところ、「場合によってはこれからもそうする」との市長の答え。これは問題と考え、党派を超えた10人ほどの議員で、市長に発言の訂正などを申し入れましたが、結局市長からはリアクションなしでした。今後もより厳しく市長の市政運営に意見していきます。



山口克也

ヤマグチカツヤ

【連絡先】大阪府吹田市豊津町25-12
山口克也事務所
TEL：06-6330-6721
FAX：06-6369-3734
Mail：katsuya@bigfoot.com
<http://yamaguchikatsuya.net>

5 月議会から、会派「みんなの未来」を解消し、吹田新選会に合流しました。理由は、3 月議会で財政健全化の名目のもと、ビジョンもなく、さまざまな市民福祉を切った予算案に私が賛成することができず、予算案に賛成した榎内議員との間に一定の距離を置くことにしたためです。榎内議員とは、今後もさまざまな点で協力をしてまいります。議員の命は批判精神と構想力です。さまざまな市政にかかわる利権から距離をおき、多くの市民の皆様の気持ちを代弁して意思表示をし、市政を批判するとともに、有効な代替案を指し示すことが仕事です。
皆さんがお読みになって感じられるように、吹田新選会の議員は気持ちの良いほど私心のない若者たちです。私は彼らとともに行動し、私が温めているまちづくりの構想をできるだけ多く彼らに伝え、吹田市にもう一度、新しい都市づくりへの夢が生まれるよう努力していきます。



足立将一

アダチノブカツ

【連絡先】吹田市南金田1-4-11-106
足立ノブカツ事務所
TEL：06-6339-6839
FAX：06-6339-6869
Mail：nobukatsu.adachi@gmail.com
<http://www.nobu8.jp>

5 月議会では私の所属する財政総務委員会の案件のうち 2 件の条例案を否決しました。紙面でも少し解説させていただきましたが、いずれも市長の政治手腕に疑問を投げかけるもので、しっかりと議論させていただいたうえでの多数決の結果です。1 年間議会での市長の発言などを聞いていて行政経営の手法や教育に対する問題意識、政治哲学に対して本当にそれでよいのかと感ずることが多々あります。市民が選んだ市長が良い方向に市政を導いていけるよう、多様な意見の議会と市長当局が是々非々で議論ができる二元代表制をしっかりと維持していくことが重要であると考えています。
今年度引き続き財政総務委員会に所属することができたので「子どもにツケをまわさない」という信念のもと、目先の財政健全化ではなく本当に吹田市が良い街になるために議会ができること考え行動してまいります。

吹田新選会と市政を考える会 インターン募集！

今回は、「教育」をテーマに、新選会の4人の議員と膝を突き合わせ、ワークショップを行い、これからの吹田の教育に何を求めるか、どんなビジョンを掲げるかを話し合いたいと思います。
日時：8月4日(土) 13：00～16：00
会場：メイシアター 集会室



対象…どなたでも参加可能

参加無料

事前申し込みをメールか電話、FAX にてお願いいたします。→



山口克也

ヤマグチカツヤ

【連絡先】大阪府吹田市豊津町25-12
山口克也事務所
TEL：06-6330-6721
FAX：06-6369-3734
Mail：katsuya@bigfoot.com
<http://yamaguchikatsuya.net>

質問（太陽光発電推進について）――
「地球寒冷化説」があるが、地球温暖化は急速にすすんでいる。吹田市の施設の屋根を太陽光発電事業者に貸し、吹田市が賃料収入を得る、「屋根貸」制度を導入せよ。
環境部長答弁――
屋根貸制度は太陽光発電設備の普及促進策として非常に有効であると考えており、吹田市の公共施設の現状をふまえ、検討を進める。
質問（千里ニュータウンのまちづくりについて）――
千里ニュータウンの建て替えが進んでいるが、街全体についてどのような美観を形成するべきか、吹田市としてプランがあるのか?デザインの方性を定めた例が、多摩ニュータウンなどであるが、そこで使われたマスターアーキテクト方式などを利用するつもりはないか?
都市整備部長――
「吹田市景観まちづくり計画」などの景観形成基準に適合した上、より地域に調和したものとなるよう、景観アドバイザーの助言を受けつつ意匠・形態の誘導を行っていく。
質問（吹田市のイメージキャラクターについて）――
吹田市のイメージキャラクターとして「すいたん」をいつまでも使いつづけるのか?ヒメボタルや太陽の塔なども吹田市のシンボルでないのか。
まち産業活性部長――
「すいたん」は今後とも使用していくが、太陽の塔を吹田市のイメージキャラクターにとの声が、多くの市民の皆様の中にあることは十分承知している。

足立個人質問

質問（歴史教育についての市長の問題意識は）――
日本の社会問題を考えるために必要な近現代史について「わからない、知らない」と答える同年代の若者が多いように感じる。若者が未来を考えられる環境を整えるためにきちんとした歴史の教育を行う必要があると考えるが、今の吹田市の小中学生は歴史認識を養うために十分な教育をうけているとお考えか。

市長答弁――

各学校において、学習指導要領に基づき、適切に実施されているものと認識している。
質問（市政運営に外部の知恵をいれるのか）――
今後大阪府や大阪市のように外部から専門家を招いて街の魅力を上げる政策を推進するおつもりはあるか。

市長答弁――

現時点では、そういった考えは持っていない。
質問（保育園保護者会是谁のためのもの）――
公立保育園保護者会の会費から吹田保育運動連絡会に対して1世帯あたり 1000 円を支払われている。現状では一部の保育園を除いて保護者会に入会すると強制的に任意団体である吹田保育運動連絡会にも加入するようになっている。加入は任意であるということ周知すべきではないか。

子ども部長答弁――

保護者会加入時に、吹田保育運動連絡会と保護者会との関係について十分説明し、保護者の皆様に誤解を招くことがないよう、任意団体に対して周知・徹底をお願いしていく。

質問（病児・病後児保育の拡充について）――

病児・病後児保育施設の利用者数・利用率・運営経費を問う。また現在対象児は認可保育所・共同保育所に入所している乳幼児に限られているが、他市では小学3年生以下の全児童としている事例もある。限定している理由は何か。

子ども部長答弁――

北千里病後児保育室の年間延べ利用者数は 203 人、定員に対する利用率は 28.9%、運営経費は 21,385,710 円、岸部診療所病児・病後児保育室の年間延べ利用者数は 456 人、定員に対する利用率は 27.2%、運営経費は 28,718,130 円。利用対象を拡げることにより、現在の対象者が利用出来なくなることが危惧されることから限定している。

再質問――

利用率が低い。利用対象者の範囲の狭さと保育場所の立地の悪さを改善して利用率を上げる努力をすべきではないか。
子ども部長答弁――
ご指摘の点も踏まえて費用対効果を考え有益な形を考えて運営を行っていく。

吹田新選会 連絡先

メール

s0803.2000@gmail.com

電話

090-6059-8330

FAX

06-6337-6925

